

プレスリリース
2017年1月27日

報道関係者各位

AutoForm^{plus} R7 -工程シミュレーションを新たなレベルへ

プレス成形業界向けのソフトウェア・ソリューションの世界有数のサプライヤである AutoForm Engineering GmbH(本社:スイス)は、最新のソフトウェア・バージョン、AutoForm^{plus} R7 を発表しました。このリリースはユーザーの利便性を拡充し、また工程シミュレーションを新たなレベルへと引き上げました。

AutoForm^{plus} R7 は、パワフルな新機能や機能強化を通じて、工程シミュレーションを新たなレベルに引き上げました。その結果、すべての成形工程、中でも順送金型や熱間プレス成形において、より柔軟で効率の高い工程設定および最終検証が実現しました。

AutoForm^{plus} R7 では、熱間プレス成形の工程モデルにて冷却水路が考慮できるようになり、より高度なモデル化が可能となりました。冷却水路は 3D カーブと対応する直径から、簡単にモデル化できます。冷却水路のレイアウトが異なると、金型サーフェスの温度分布も異なります。金型サーフェスのホットスポットは、冷却水路のレイアウトから、簡単に検出および制御することができます。

AutoForm^{plus} R7 のハイライトのひとつに挙げられるのが、順送金型の工程計画およびシミュレーションの改良です。AutoForm^{plus} R7 では、特に、工程の最終検証にて使用する CAD 設計の金型形状のインポート、工程計画ステージにおける部品のインポート、そしてダイフェースの作成およびシミュレーションを含む全工程設計に必要な部品のインポートをサポートしています。これらの使用例は、順送金型の工程計画を効率的に作成およびシミュレーションできる新機能によって、サポートされています。

また AutoForm^{plus} R7 では、Sigma に関するすべての前処理・結果分析機能が AutoForm-ProcessExplorer^{plus} へ統合され、すべての AutoForm^{plus} R7 ユーザーの方が AutoForm-Sigma^{plus} の機能をご利用いただけるようになりました。これにより、分析的工程改善や工程ロバスト性検証といった Sigma アプリケーションから、高い利便性を享受できます。そして必要な品質条件を満たしながら、効率性の高い設計工程やロバストな部品製造を確実に行うことができます。

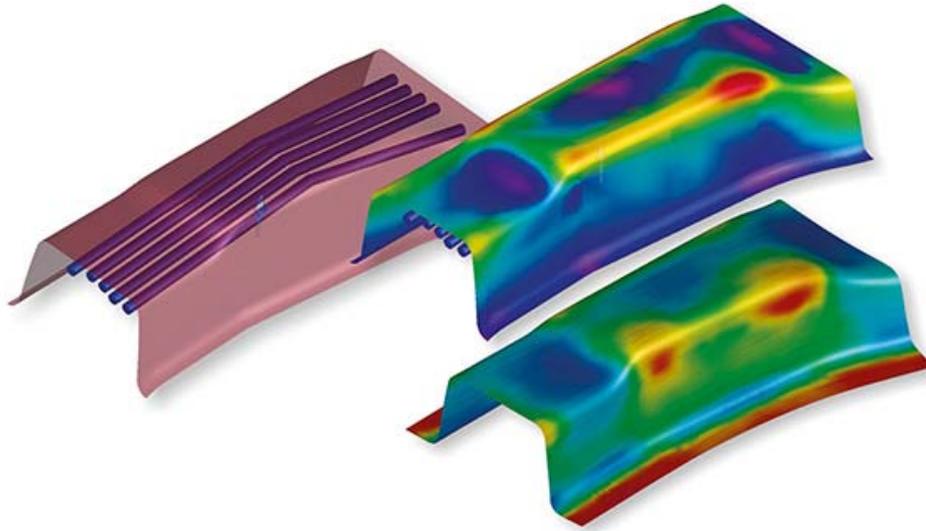
Corporate Marketing Director, Dr. Markus Thomma のコメントです。「我が社は、開発に全力を尽くした最新のソフトウェア・リリースを、ここに改めて発表いたします。世界各国において現在開催中のロールアウト・イベントへ、みなさまをご招待します。ユーザーのみなさまにソフトウェアをご使用いただく上で、新機能や強化機能についてより深くご理解いただけるよう、これらのイベントを企画しました。」

AutoForm Engineering GmbH について

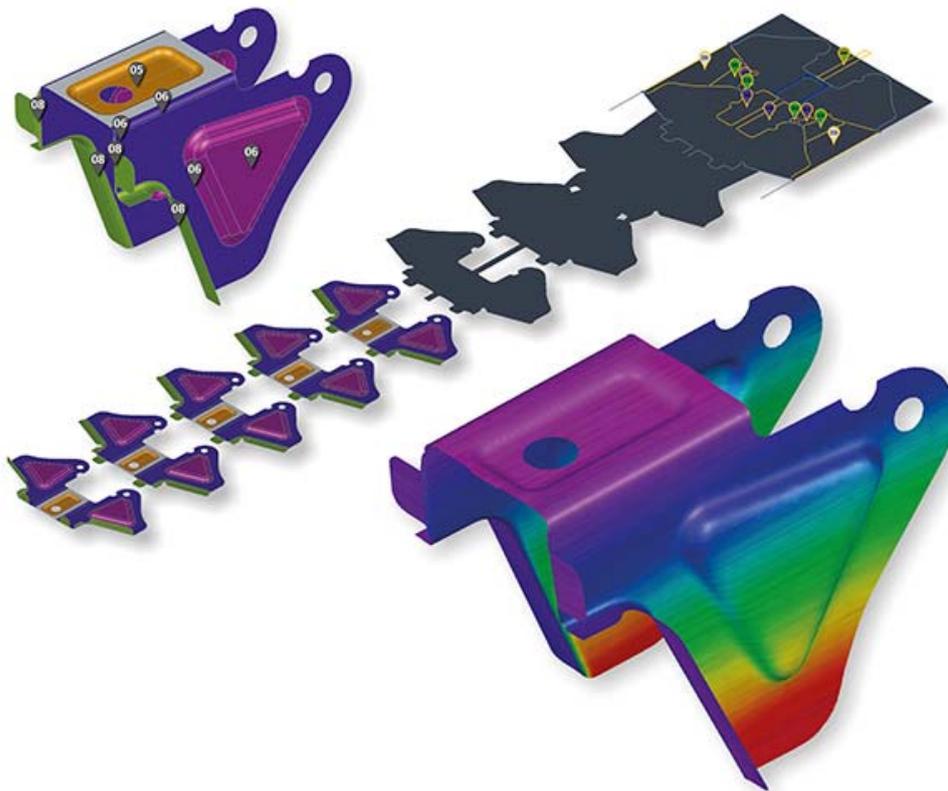
AutoForm は、金型設計およびプレス成形業界のプロセス・チェーン全体にわたるソリューションを提供しています。業界に精通した社員 300 名を擁し、製品の製造、工具・原料費計算、ダイ・フェース設計、バーチャル・プロセス最適化に特化したソフトウェアのリーディング・カンパニーとして高く評価されています。大手自動車メーカー 20 社やほぼすべての関連企業が、AutoForm を利用しています。スイスのチューリッヒを本拠として、その拠点網はドイツ、オランダ、フランス、スペイン、イタリア、アメリカ、メキシコ、ブラジル、インド、中国、日本、韓国に広がっています。この他 15 カ国以上に代理店を設けています。詳しくは弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.autoform.com

このリリースに関するお問い合わせ、データのリクエスト先は:オートフォームジャパン株式会社
ビジネス・ディベロップメント 藤川 敏弘 電話:03-6459-0881 Eメール:info@autoform.jp



冷却水路 - 金型設計、金型温度、シート温度



ブランク計画および曲げ計画: AutoForm^{plus} R7 の新機能によって、順送金型の工程計画やシミュレーション(例えば、スプリングバックなど)を効率的に行うことができます。

高解像度の画像データが必要な場合はお問い合わせください。